

第57回

全道ろうあ者夏季体育大会 in 函館

参加案内書



日時:2025年7月4日(金)～6日

会場:函館市総合福祉センター、サン・リフレ函館他

主催:公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管:函館聴覚障がい者協会

第57回全道ろうあ者夏季体育大会開催要綱（案）

1. 目的 全道のろうあ者がスポーツを通じて心身を鍛え、積極的な社会参加を推進し、その福祉の向上に寄与することを目的とする。
2. 名称 第57回全道ろうあ者夏季体育大会
(1)「第50回ボウリング競技」
(2)「第35回バドミントン競技」
(3)「第23回パークゴルフ競技」
(4)「第22回ソフトバレーボール競技」
(5)「第10回フロアカーリング競技」
3. 主催 公益社団法人 北海道ろうあ連盟
4. 主管 函館聴覚障がい者協会
5. 開催日 2025年7月4日（金）～ 6日（日）
6. 競技主管 北海道ボウリング連盟函館支部
函館地区バドミントン協会
函館パークゴルフ協会
函館ソフトバレーボール連盟
北海道ろうあ者フロアカーリング委員会
7. 後援 (予定) 北海道・北海道議会・(社福)北海道社会福祉協議会・(社福)北海道共同募金会・(一社)北海道身体障害者福祉協会・(公財)北海道スポーツ協会・(公財)北海道障がい者スポーツ協会・北海道聾学校長会・北海道聾学校PTA連合会・手話を広める北海道議会議員連盟・北海道手話サークル連絡協議会・北海道手話通訳問題研究会・北海道手話通訳士会・函館市・函館市議会・函館市教育委員会・北斗市・北斗市教育委員会・(特非)函館市スポーツ協会・(社福)函館市社会福祉協議会・(一社)函館市身体障害者福祉団体連合会・函館商工会議所・(一社)函館青年会議所・(一社)函館国際観光コンベンション協会・函館盲聾教育後援会・朝日新聞北海道支社・毎日新聞北海道支社・読売新聞北海道支社・朝日新聞社函館支局・毎日新聞函館支局・読売新聞社函館支局・北海道新聞函館支社・(株)函館新聞社・FMいるか・NCV
8. 協力 渡島手話サークル連絡協議会（「函館手話の会」・「もみじ会」・「どんぐり会」・「ピジョン」・「手話っち smile」・「Lの会」）・北海道手話通訳問題研究会道南支部函館班・手話サークル「ともえ」・「こだま会」・「ハーモニーつなぐ」・「ななえゆきんこ」・「ふきのとう」・「江差手話の会」・「いまかね」・「きぼう」

9. 日程及び会場（予定）

月 日	時 間	競技種目及び内容	会 場
7/4 (金)	19:00～20:30	合同会議	函館市総合福祉センター
7/5 (土)	10:00～10:45	主将会議(ボウリング)	函館市総合福祉センター
		〃 (バドミントン)	
		〃 (フロアカーリング)	
	11:00～11:45	総合開会式	函館市総合福祉センター
	13:00～13:30	各競技開会式	各競技会場
	13:30～17:00	ボウリング競技(団体戦)	ボウルサンシャイン函館店
		バドミントン競技(第1日目)	サン・リフレ函館
フロアカーリング競技		函館市総合福祉センター	
17:15～18:00	主将会議(ソフトバレーボール)	函館市総合福祉センター	
	〃 (パークゴルフ)		
7/6 (日)	9:00～17:00	ボウリング競技(個人戦)	ボウルサンシャイン函館店
		バドミントン競技(第2日目)	サン・リフレ函館
		パークゴルフ競技開会式・競技 (団体戦・個人戦)	すずらんの丘公園パークゴルフ場
		ソフトバレーボール開会式・競技	北斗市スポーツセンター
		終了後表彰式	各競技会場

【会場所在地】

函館市内市外局番 (0138)

区 分	会 場 名	住 所	T E L
合同会議 主将会議 総合開会式 フロアカーリング競技	函館市総合福祉センター (あいよる21)	函館市若松町33番6号	22-6262
バドミントン競技	サン・リフレ函館	函館市大森町2番14号	23-2556
ボウリング競技	ボウルサンシャイン函館店	函館市梁川町9番3号	53-8181
パークゴルフ競技	すすらの丘公園 パークゴルフ場	函館市滝沢町93番	31-6117
ソフトバレー ボール競技	北斗市スポーツセンター	北斗市本郷2丁目5番1号	77-7200

10. 参加資格

- ・北海道ろうあ連盟の正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・きこえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。

11. 競技実施要項

競技実施要項は別に定める「第57回全道ろうあ者夏季体育大会競技実施要項」の通りとする。

12. 競技種目 競技種目は下記の通りとする。

競 技 種 目	日 程	種 目		備 考
		男 子	女 子	
バドミントン	7/5 (土) }	シングルス戦	シングルス戦	参加制限なし
		ミックス戦		
	7/6 (日)	ダブルス戦	ダブルス戦	
フロアカーリング	7/5 (土)	団 体 戦		
ボウリング	7/5 (土)	団 体 戦		
	7/6 (日)	個 人 戦	個 人 戦	A・Bクラス
ソフトバレーボール	7/6 (日)	団 体 戦		参加制限なし
パークゴルフ	7/6 (日)	団 体 戦		
		個 人 戦	個 人 戦	

13. 大会参加料 参加料は次の通りとする。

区 分	参 加 料
選手参加料	3,000円 但し、ボウリング競技については Aクラス 5,700円 Bクラス 4,800円
団体参加料	1チームにつき 2,000円 但し、ボウリング競技については、7,400円とする。 バドミントン競技の男女ダブルス・混合ダブルスは1チームにつき 2,000円
応援参加料	原則無料とする。 但し、大会資料を希望する場合は、1,000円

【パークゴルフ競技の場合】

区 分	参 加 料
選手参加料	3,000円
団体参加料	1チームにつき、2,000円

【バドミントン競技の場合】

	参加種目	参加料 (必須)	各男女ダブルス (1組2,000円)	混合ダブルス (1組2,000円)	合計参加料
A	全種目参加	3,000円	1,000円	1,000円	5,000円
B	シングルスのみ	3,000円	—	—	3,000円
C	ダブルスのみ	3,000円	1,000円	—	4,000円
D	混合ダブルス のみ	3,000円	—	1,000円	4,000円
E	ダブルスと 混合ダブルス	3,000円	1,000円	1,000円	5,000円

- *各男女ダブルス・混合ダブルスは、1組2,000円ですが、1人の参加料は1,000円となります。
- *各男女ダブルス・混合ダブルスを申し込んだ場合は、パートナーと必ず確認をして下さい。また、参加申込書の他にペア申込書を一緒に申し込んで下さい。(ペア申込書がない限り、参加を認めないこともありますのでご注意ください。)
- *聞こえる人の場合は、C・D・Eの参加に限ります。
- ※大会参加料は、3,000円の中から200円をろうスポーツの発展のため、「北海道ろうあ連盟文化スポーツ基金」に使わせていただくことをご了承下さい。

14. 弁当の申込み

別に定める参加申込用紙に必要な事項を記入の上、期限までに申し込むこととする。

弁当(お茶付)1人1食 1,000円

実行委員会に申し込んだ弁当・飲み物に限りゴミは回収する。

15. 申込方法

- (1) 個人参加申込書に記入し費用全額を添えて所属する協会に申込書を提出すること。
 - (2) 協会責任者は別添の総括申込書に個々の申込者分を集計し、費用全額を添えて 5月2日(金)までに下記の実行委員会へ申し込むこと。
- ※申込書は必ず郵送し、参加料は銀行振込とする。

【申込書郵送先】

〒040-0063 函館市若松町33番6号 函館市総合福祉センター 1階
第57回全道ろうあ者夏季体育大会 実行委員会
TEL : 090-5695-7141
FAX : 050-3174-9736
Eメール : 57th.deafsports.hakodate@gmail.com

【参加料振込先】

銀行名	北海道銀行 湯川支店
口座番号	(普通) 0559468
名義	第57回全道ろうあ者夏季体育大会 実行委員会 実行委員長 石井 昌子

16. 途中解約または参加申込み締切り以降の出場選手変更について

- (1) 大会参加料は、申込み締切り以降の場合は、理由の如何にかかわらず返金しない。
※取り返し返金の場合は、大会期間中に所属協会責任者に直接返金する。
責任者は印鑑持参すること。
- (2) 事故などによる選手等の変更は令和7年7月5日(土)の主将会議までに「登録選手変更届書」に参加料を添えて実行委員会に提出すること。
FAXなどによる登録選手変更届や期日を過ぎた提出は認めない。

17. 全国ろうあ者体育大会への参加資格

- (1) ブロック予選のある競技については、優勝又は準優勝のチーム又は個人が参加できる。但し、該当者がいない場合は協議の上、他の参加を認める。
- (2) ブロック予選のない競技については、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会の規則に照らしてチーム又は個人の参加を認める。

18. そ の 他

- (1) 選手はスポーツ傷害保険又はこれに準ずる保険に加入しておくこと。
- (2) 大会期間中の負傷・病気について応急処置は行う。ただし、病院への移動費用も含めすべて個人負担とする。必ず健康保険証を持参すること。
- (3) 大会各会場において、保育は準備しない
- (4) 宿泊ホテル・交通等に関する申込みについては、各自で手配すること。
- (5) その他、必要な事項はその都度北海道ろうあ連盟と実行委員会が協議により定める。
- (6) 函館市総合福祉センター、サン・リフレ函館、北斗市スポーツセンターには、必ず上靴を持参して下さい。

第57回全道ろうあ者夏季体育大会競技実施要項

1. 目 的

この要項は、全道ろうあ者夏季体育大会の運営を円滑に実施することを目的に定める。

2. 競 技 運 営

- (1) 荒天時における実施判断については、主催者側と競技主管が協議の上、決定する。
- (2) 競技進行中に起きた競技者の行為、又は順位の決定に関し、異議のある場合は競技者又は代理人が文書又は口頭で審判長に申し出ることができる。
- (3) 各競技規則で服装について定めてある場合は、その服装で競技すること。

3. 主 将 会 議

各競技の主将会議を次の通り開催する。

尚、出席できるのは出場する競技ごとに1チーム2名以内とする。

- (1) 7月5日(土)10時00分～10時45分(函館市総合福祉センター 4階会議室)
バドミントン競技、ボウリング競技、フロアカーリング競技
- (2) 7月5日(土)17時15分～18時00分(函館市総合福祉センター 4階会議室)
ソフトバレーボール競技、パークゴルフ競技
- (3) 主将会議に欠席するチームは、必ず大会前日までに大会実行委員会へ連絡すること。

4. ゼ ッ ケ ン

- (1) 競技に出場する選手は、必ずゼッケンを付けなければならない。但し、パークゴルフ競技の選手は目印にリボンを左肩に付ける。
- (2) ゼッケンの付け方は、各競技規則に定める通りとする。但し、申込み後のゼッケン番号又は背番号の変更は認めない。
- (3) バドミントン、ボウリング競技に出場する者のゼッケンは、各競技規則に定める規格のものを参加者において準備するものとする。

5. 表 彰

- (1) 各競技の1位から3位までの入賞者にメダルを授与する。
- (2) 団体戦の優勝チーム・2位・3位のチームにはメダルを授与する。
- (3) 団体戦の賞状については「各競技規則」に準ずるものとする。

6. 記 録 発 表

競技記録は、実行委員会本部より発表する。

7. 競 技 規 則

各競技の競技規則は、別紙の「各競技規則」のとおりとする。

《ソフトバレーボール競技》

1. 競技種目

団体戦(男女混合)

2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・きこえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。

3. チーム編成

1チームの競技者は男女で計4名編成し、男子2名以下及びきこえる人は2名以下とする。(男女は問わない。) 但し、補欠を含めて6名まで登録することができる。

4. 競技方法

(1)参加チームによって、予選リーグ・決勝はトーナメント戦とする。但し、参加チームが少ない場合は予選・決勝共リーグ戦とする。

① 予選リーグ戦は、参加チームの数に合わせて各ブロックに振り分けて組み合わせる。

② 決勝トーナメント戦は、予選リーグ1・2位チームにより行う。

③ 予選リーグ戦3位以下のチームは各ブロック3位以下のチーム同士によってトーナメント戦を行う。(表彰はなし)

(2)(公財)日本バレーボール協会制定「2024年度ソフトバレーボール競技規則」及び開催要項を適用する。

(3)コートは、13.40m×6.10mの広さのダブルス用バドミントンコートを使用する。

(4)ネットは、幅80cmで高さ2mのソフトバレーボール用ネットを使用する。

(5)ボールは、重さ210±10g、円周78±1cmの(公財)日本バレーボール協会検定ソフトバレーボール公式球を使用する。

(6)競技は3セットマッチで行い、2セット先取したチームの勝者とする。1セット15点先取で行い、1つのセットは最小限2点差をつけて先に15点を取ったチームを勝者とする。尚、同点になった場合、2点リードに達するまで試合は続行される。但し、17点で試合は打ち切れ、17点先取したチームが1点差でも勝者とする。

(7)各チームは1セットにつき最大2回のタイムアウトを取ることができる。1回のタイムアウトの時間は30秒以内とする。

(8)コートチェンジは実施する。

(9)次の行為は反則とする。

(イ)オーバーネット…ネットから手が出てOK。但しネットから手が出てボールに触れてはいけない。

(ロ)タッチネット…いかなる場合でもインプレー中、直接ネットに触れてはいけない。

(ハ)ドリブル…2回以上ボールに触れてはいけない。第一球目は一連の動作であればドリブルはない。

(ニ)ホールディング…ボールを踏んだり、明らかに停止させてプレーしてはいけない。

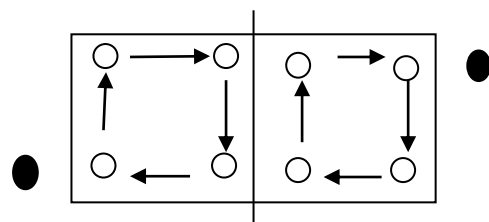
(ホ)フットフォルト…サーブを打つ瞬間、あるいはジャンプサーブをするため踏み切った時にコートやサーブゾーン外のフリーゾーンに触れてはいけない。

(10)ローテーションはサーブをレシーブするチームがサーブ権を得たとき、そのチームの選手が、時計回りに一つずつ位置を移動すること。

【ローテーションの位置】

右図のように一つずつ移動する。

●はサーバーの位置



(11)試合開始・終了の挨拶は、両チームのコート(エンドライン上に整列)で行う。

5. ゼッケン及びキャプテンマーク

選手は、ユニフォーム又はビブスを着用し番号(ゼッケン)を付けること。キャプテンは、長さ8cm、幅2cmの異色のマーク又は腕章をユニフォーム又はビブスに付けること。

6. 組み合わせ

参加申し込み締め切り後、実行委員会において、代理抽選により決定する。

7. 表彰

決勝トーナメント終了後、閉会式にて行う。

8. 競技規則

公益財団法人日本バレーボール協会制定「ソフトバレーボール競技規則」に準ずる。

《ボウリング競技》

1. 競技種目

(1)団体戦…男女混合

(2)Aクラス…年齢制限なし 予選4G+決勝2G(男女別・全国大会出場権を付加)

(3)Bクラス…年齢制限なし 予選4G(男女別)

2. 出場資格

・北海道ろうあ連盟正会員であること。

・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。

・きこえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。

3. チーム構成

(1)団体戦は1チーム男子2名、女子1名の構成とする。但し構成できない事由があるときは変則的に男子1名+女子2名という構成も認める。(3人チームとする。)

(2)チーム構成できない協会は、他の地域協会との構成ができる。

(3)きこえる人は、1チーム2名まで参加できる。但し、男子の場合は1名までとする。

4. 競技方法

(1)個人戦はアメリカン方式とする。(一対のレーンで1フレーム毎に交互に投球する。)

また、個人戦の予選4ゲームは予選から1レーンごとにレーン移動を行う。

Aクラス…6ゲームのトータル(予選4ゲーム+決勝2ゲーム)

※決勝2ゲームもレーン移動をする。(男女別)

Bクラス…予選4ゲームを行い、各ゲームのハンディ込トータルピンにより男女毎に順位を決定する。

(2)Bクラスは年齢によりハンディをつける。(P⇒ピン)(G⇒ゲーム)

50歳以上…5P(5P×4G=20P)

60歳以上…10P(10P×4G=40P)

65歳以上…15P(15P×4G=60P)

70歳以上…20P(20P×4G=80P)

(3)団体戦はアメリカン方式で男女混合3名4Gとし、そのトータルピンによりに順位を決定する。

(4)団体戦におけるハンディについて

男子60歳以上1ゲームにつき…10P

女子49歳以下1ゲームにつき…10P

女子50歳以上1ゲームにつき…15P

女子60歳以上1ゲームにつき…20P

(5)競技中は次の行為を認めない。

イ)スロープレー

ロ)競技中の喫煙

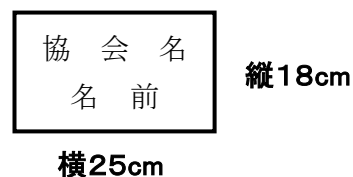
ハ)ボックス内での飲食(ガムなども禁止)

ホ)競技中、遅延行為、又は迷惑行為

※飲み物などはカウンターで飲み、ボックス内に持ち込まない。

ニ)ゼッケンは次の通りとする。

※ゼッケンの文字はローマ字でも可とする。



(6)全国ろうあ者体育大会の団体戦について

全国ろうあ者体育大会の団体戦に出場する条件は、北海道ろう者ボウリング委員会(合流実施企画)と、全道ろうあ者夏季体育大会(Aクラス)の出場条件として、全国ろうあ者体育大会の団体戦選手選出とする。選出方法は、両実施のHDを省いて総合計とする。全道ろうあ者夏季体育大会の男子Aクラス上位4名、女子Aクラス上位3名とする。但し、両実施の総合計の上位の方で出場出来ない場合、繰り下げ順とする。また、補欠メンバーもそれぞれ1名とする。

5. 組み合わせ

参加申込締切り後、実行委員会において審判団立会いの上、代理抽選により決定する。

6. 表彰

(1)個人戦は各クラス毎1位～3位までメダルを授与する。

(2)団体戦は1位～3位までメダル及び賞状を授与する。

(3)ハイゲーム賞は個人戦の競技で最高点を出した選手に贈り、各クラス別毎に授与する。但し、Bクラスについてはハンディ得点を除いた最高点とする。

7. 競技規則

公益財団法人全日本ボウリング協会の競技規則に準ずる。

《バドミントン競技》

1. 競技種目

男子シングルス、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス

2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は保護者の同意条件で参加を認める。
きこえる人は、北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。但し、シングルスに参加することはできない。
また、各男女ダブルス、混合ダブルスのペアについては、きこえる同士のペアは認めない。(ろう者と聞こえる人のペアを認める。)

シングルス	各男女ダブルス	混合ダブルス
×	○	○

3. 競技方法

各種目ともリーグ方式で行なう。但し、参加者が多数の場合はトーナメント方式で行なうことがある。
競技方法の決定は、競技主管で行なう。

4. 競技服装

- (1)選手は着衣の背部にゼッケンをつけるものとする。
- (2)ゼッケンは下記の通りとする。

名 前	たて 18cm
協会名	よこ 25cm ※白地に黒字

5. 使用シャトル

(公益財団法人)日本バドミントン協会検定合格品とする。

6. 組み合わせ

各種目とも参加申し込み締め切り後、実行委員会において審判長立会いの上、代理抽選により決定する。

7. 競技規則

大会開催年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに本大会運営規定による。

8. 表 彰

各種目とも、競技終了後閉会式において行なう。

9. 注意事項

- (1)各種目とも21点3ゲームマッチのラリーポイント制とし、20点オールになった場合は2点差がつくか、最大30点までの延長戦とする。
- (2)すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、2分を超えないインターバルを認める。
第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に2分を超えないインターバルを認める。
- (3)プレーヤーは次の行為をしてはならない。
 - ①プレーを故意に遅らせたり、または中断すること。
 - ②シャトルのスピードや飛び方を変えるために故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
 - ③見苦しい服装でプレーをしたり、審判員や観客に対して横柄な振る舞いをしたりするような下品で無礼な態度・言動をしてはならない。

《パークゴルフ競技》

1. 競技種目

個人戦(一般 男・女 シニア 男・女) 団体戦

1. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟会員であること。
- ・非会員であっても学校長・障害者団体長の推薦ある者、及び手話サークル会員の参加も認める。
個人戦のみ聴覚障害者とする。
- ・きこえる人は18歳以上で、北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。
但し、きこえる人は団体戦のみの参加とし、個人戦の参加は認めない。

2. チームの編成

- (1) 団体戦のチーム編成は次の通りとする。
年齢を問わず、男子2名・女子2名の4名で編成し、きこえる人は2名以下とする
きこえる人のみのチーム編成は認めない。
- (2) 団体戦のチームは協会又はブロック内の選手を持って編成する。

4. 競技方法

- (1) 競技は36ホールストロークプレーとする。
団体戦、及び個人戦ともに競技は36ホールストロークプレーとし、団体戦は1チーム4名の合計スコアで順位を決定する。
- (2) この大会は各ホール7打打ち止めとする。
- (3) 年齢によりクラス分けを行う。(満年齢)
(ア)一般 男子75歳未満 女子70歳未満
(イ)シニア 男子75歳以上 女子70歳以上
- (4) 1位から3位までに同順位が生じた場合は、短距離、直線コースにおいて1ホール1打によるカップからの距離によって(ニアピン)順位を決定する。
- (5) 4ヶ所同時スタート(A-1・B-1・C-1・D-1)
- (6) 競技者はアドレス前に、1打毎に打数の自己申告(手話)を行う。
- (7) OB並びにペナルティは2打罰を付加する。
(スコア記入はホールアウトしてから、1ホール毎に全員で確認する。)

5. 用具

国際パークゴルフ協会公認用具を使用する。(くまげらマーク)

6. マナー

- (1) 喫煙場所はスタート地点のみとし、コース内は禁煙。
- (2) アドレス時、同伴者は邪魔にならない位置で静かに見学し、競技者は進行を遅らせてはならない。
- (3) バンカーを使用した場合は、バンカーならしを忘れず行うこと。

7. 表彰

- (1) 全競技終了後、閉会式にて行う。
- (2) 個人戦はクラス毎に1位から3位までメダルを授与する。
- (3) 団体戦は1位に持ち回り優勝杯を授与、又1位から3位までにメダルを授与する。

8. 競技規則

最新の国際パークゴルフ協会ルールに準ずる。

《フロアカーリング競技》

1. 競技種目

ダブルス戦(1チーム2名(登録は補欠を含めて3名まで可)男女、年齢関係なし)

2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・きこえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれであること。
但し、きこえる人同士のダブルスは認めない。

3. 競技方法

(1) 予選はリーグ戦・決勝はトーナメント戦とする、但し、参加チームが多数の場合はトーナメント戦とする。(参加チーム数により変更する場合があります)

(2) 予選リーグは各試合4セットを行い、得点の多いチームの勝ちとする。なお4セット終了時同点の場合は延長1セットを行う。その場合延長したセットの得点は得失点差に含まない。

(3) 予選リーグの結果、勝率及び得失点差が同じ場合は、次のとおりとする。

A) 2チームの場合は、当該チームの対戦成績で上位チームを優位とする。

B) 3チーム以上の場合は、抽選で順位を決定する。

(4) 決勝トーナメントは、6セット行き、得点の多いチームの勝ちとする。

尚6セット終了時同点の場合は延長1セットを行う。その場合、延長したセットの得点は得失点差に含まない。

(5) 予選リーグ戦1, 2位チームが決勝トーナメント戦に進むことが出来る。

(参加チーム数により変更する場合があります)

(6) 組み合わせ

参加申し込み締め切り後、実行委員会において代理抽選によって決定する。

(7) 審判は原則、参加チームによる相互審判とする。

4. 競技服装

(1) 選手は着衣の胸部にゼッケンをつけるものとする。

(2) ゼッケンは下記の通りとする。

チーム名	縦 18cm	※白地に黒字
	横 25cm	

5. 表彰

1位から3位まで表彰を行う。

6. 競技規則

最新の日本フロアカーリング協会の規則に準じる。